

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

邑南町まち・ひと・しごと創生推進計画2026

2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県邑智郡邑南町

3 地域再生計画の区域

島根県邑智郡邑南町の全域

4 地域再生計画の目標

本町では、人口減少対策に取り組んではいるものの、合併翌年の2005年(平成17年)の国勢調査で、12,994人であった人口が、15年後の2020年(令和2年)では、10,163人と15年間で約2,800人近く減少しており、合併前の15年間と比べ人口減少の割合が加速しています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口(以下「社人研推計」という。)でも、将来にわたって人口減少が続くと予測されており、2050年(令和32年)で6,043人となる見込みです。

令和6年度には、自然動態が▲183人、社会動態が▲66人とそれぞれ減少しており、人口減少に歯止めがかからず、年齢別人口の推移をみると、全ての年齢層で人口減少が続く、特に生産年齢人口と年少人口の減少が顕著です。このような状況が続くと、地域経済の縮小や医療機関の不足、教育環境や災害対策といった生活課題が浮き彫りになることや地域コミュニティ運営を継続させていくことが難しくなることが懸念されます。

こうした人口減少による課題を正面から捉え、人口減少を抑制する取組みを進めるとともに、人口が減少する社会でも自律的で持続可能な生活環境の維持に向けて、邑南町の強みであるこれまで築いてきた「地域と人とのつながり」や「安心して挑戦できる環境」を大切に、町民が幸福を感じる“持続可能な邑南町”の実現に向けて、次の事項を基本目標に掲げ、「地域とつながり、挑戦を育む町」邑南町を目指します。

- ・基本目標1 「ひとを育てる」 挑戦を育てる、学びのコミュニティ
- ・基本目標2 「しごとを伸ばす」 「おおなんブランド」を基盤とした挑戦の促進

- ・基本目標3 「くらしを守る」誰もが安心できる心地よいふるさと
- ・基本目標4 「つながりを深める」多様なつながりが生み出す信頼が循環する町

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和17年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	総人口	9,369人	8,072人	基本目標2
イ	15歳未満人口比率	9.8%	9.3%	基本目標1
ウ	町民の幸福度	90.1%	100.0%	基本目標3・4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

邑南町まち・ひと・しごと創生推進事業2026

ア 「ひとを育てる」

安心できる教育環境と地域のつながりで未来の人材を育むまちをつくる事業

イ 「しごとを伸ばす」

ブランド化や多様な働き方を支援し地域を支える産業の高付加価値化を図る事業

ウ 「くらしを守る」

生活基盤の整備と環境保全で世代を超えて安心できるまちをつくる事業

エ 「つながりを深める」

多文化共生・持続的なコミュニティづくりで地域で暮らし続けられる環境を創出する事業

② 事業の内容

ア 「ひとを育てる」

安心できる教育環境と地域のとつながりで未来の人材を育むまちをつくる事業

- 地域社会で共に育てる「子育て環境」の向上
- 幼少期からの健康づくりで心も体も大切にケア
- 学校、家庭、地域が一体となった「おおなん学」の推進
- 邑南の教育にあった学校の在り方の研究・実現
- 地域での活躍を後押しー邑南町の未来を描く学び
- 公民館エリアの地域資源を生かした教育の充実

【具体的な事業】

- ・ 子どもまるごと相談室
- ・ 総合的な食育の推進
- ・ 「おおなん学」の確立・推進
- ・ 矢上高校・石見養護学校魅力化コンソーシアムの推進 等

イ 「しごとを伸ばす」

ブランド化や多様な働き方を支援し地域を支える産業の高付加価値化を図る事業

- テクノロジーを活用した持続可能な農林水産業
- 豊富な森林資源の有効活用と循環型林業の確立
- 起業・第二創業等の町内事業者の挑戦を支援
- 道の駅や農産物直売所を起点に観光による経済波及
- 邑南町の新たなイメージ戦略とその活用
- 邑南町の自然を守り・活かす ー環境産業の推進
- 多様な働き方ニーズを満たし、働くひとを応援
- 事業承継、組織連携、人材確保を通じた事業継続支援

【具体的な事業】

- ・農林水産業のスマート化を推進
 - ・森林の集約化による森林整備の推進
 - ・地域内での経済循環の拡大
 - ・島根県オリジナル品種のぶどう「神紅」の産地化とブランド力の向上
- 等

ウ 「暮らしを守る」

生活基盤の整備と環境保全で世代を超えて安心できるまちをつくる事業

- 道路網の維持と施設長寿命化でインフラを次代に継承
- 山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保
- 町民の生命と財産を守る―災害・獣害を防ぐ地域の備え
- 誰もが利用しやすい超高速通信インフラの展開
- スマート化による効率的な地籍調査
- 住まいづくりと空き家活用で移住・定住支援

【具体的な事業】

- ・次代につなぐインフラ強靱化
- ・水源確保・施設機能の強化
- ・自主防災組織の活動支援、防災知識を持った人材育成
- ・情報通信施設の維持、機器の更新 等

エ 「つながりを深める」

多文化共生・持続的なコミュニティづくりで地域で暮らし続けられる環境を創出する事業

- 多様な力を結集した地域コミュニティの育成
- 地域での暮らしをあきらめない医療・福祉の推進
- 外国人も含めた多文化共生のまちづくり推進
- 使いやすい交通手段・移動支援の仕組みづくり
- 災害からしなやかに立ち上がれる防災体制づくり
- 環境衛生の推進と循環型社会の実現
- DXの推進による利便性の高いまちづくり

【具体的な事業】

「地域運営組織」形成および運営支援

地域マネージャーの配置と育成の支援

安心して暮らし続けるための医療福祉従事者の確保 等

※なお、詳細は邑南町第3次総合振興計画（邑南町総合戦略2026）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,000,000千円（2026年度～2035年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃を目途に、庁内で効果検証を行った後、邑南町振興計画審議会において意見聴取・集約等を含む検証を行い、議会への報告を経て、検証内容を速やかに邑南町公式WEBサイト上で公表する。

【外部組織の参画者】

・ 邑南町振興計画審議会委員

○教育委員会、農業委員会、公共的団体（社会福祉協議会・農協・商工会・森林組合）から推薦された者

○学識経験者として新聞社や金融機関、大学教授に依頼

○公募町民

上記の者から委員16人以内で組織します

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和18年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和18年3月31日まで